

区分	事業区分	概要
世界とつながる「国際都市おおた」の特性を活かした来訪者誘致活動の推進	シティプロモーション推進事業	平成30年度に策定予定のシティプロモーション戦略に基づいて、取組を推進する。
	空港跡地活用事業	2020年にまち開き、2022年にグランドオープンが予定されている羽田空港跡地第1ゾーンや、追って開業が予定されている第2ゾーンについて、区のMICE実現の拠点とする、視察旅行や教育旅行の目的地とする等、関係者と連携し、施設活用の方針や活用メニューの整備を行う。
	SNS投稿活用事業	InstagramやTwitterにおいて区民、近隣住民や国内外の観光客から発信される区関連コンテンツを大田区公式観光サイト等へ掲載するほか、写真コンテストの開催やフォトスポットの設定等により、視覚的・参加型の観光プロモーションを実施する。
	大田区観光紹介用パンフレット	区の魅力を紹介する様々な観光紹介用パンフレットを作成し、国内外に対して大田区の観光情報を発信する。
	＜（一社）大田観光協会＞ ⑨ ホームページ管理運営	ホームページの内容を充実するとともに、Facebook の運営等を通じて、大田の魅力を広く発信し、区内外からの誘客を図る。
	＜（一社）大田観光協会＞ ⑩ 観光パンフレット等の発行	区内のイベントや観光スポット等の魅力を紹介する情報誌や観光マップ等を作成し、区内の各観光情報センター・コーナー、区施設（区役所本庁舎等）、大田区まちかど観光案内所、大田区ウェルカムショップ、その他区内イベント等で広く配布する。
	周辺地域と連携したインバウンド誘致事業	外国人旅行者の誘客のため海外に向けて大田区の魅力を発信するにあたり、他自治体・民間事業者等と連携し、民間事業者等のネットワーク及びノウハウを活用し、効果的に観光PR を実施する。
	観光PR動画プロモーション	平成28年度に制作したPR動画を拡散することにより、多くの訪日前外国人に対して区の認知度の向上、来訪の動機付けを図る。
	Facebookページ「Visit Ota-Tokyo」等における情報発信	Facebookページ「Visit Ota-Tokyo」において、大田区公式観光サイト等と連動した海外（主に英語圏）に向けた情報発信を行う。
	MICE誘致事業	MICE誘致及びMICE参加者の区内回遊を促進するため、区内関連事業者及び関係部署との連携によるMICE推進体制を構築する他、区内の展示・会議及びスポーツ施設を活用し、区への誘客を図る、MICE誘致に係る商談会に出展する。
	大田区公式観光サイト運用保守	訪日前の外国人旅行者に対する区の認知度向上、興味・関心喚起を目的に大田区公式観光サイトの運用及び拡充を行う。
	大田区観光PR特使事業	区にゆかりがあり、文化・芸術、芸能、スポーツ等の各界で活躍・活動する個人又は団体を「大田区観光PR特使」に委嘱し、それぞれの活躍の場や機会を通じ、区の魅力を区内外に発信してもらうことで、区の認知度向上・観光振興を図る。
	観光PRのための展示及びPRツール等の作成	本庁舎や地域のイベントなどで観光展示等を行い、大田の観光をPRする。
	「空の日」イベントでの「国際都市おおた」PR事業	羽田空港で開催される「空の日」フェスティバルと連携し、「国際都市おおた」を広くアピールするとともに、来場した区民が「世界とつながるおおた」の体感、区への誇り・愛着、2020 年に向けたおもてなし意識の醸成、国際交流を推進する。
	大田区公式PRキャラクター「はねびよん」の活用	大田区公式PRキャラクター「はねびよん」を活用することにより、区の魅力を区内外に発信し、区の統一感を創出するとともに、区への愛着を高める。
国際都市おおた大使事業	区に在住・在勤等、ゆかりのある外国籍の方を国際都市おおた大使として委嘱し、国際交流・多文化共生・観光・文化・スポーツ・産業・教育の分野から、区の魅力をSNS等を通じて国内外へ発信し、区主催のイベント参加をとおして、国際交流や多文化共生を推進する。	
区内各地域の魅力を活かした都市観光への取り組み	区分別観光資源整理事業	プロモーションの方向性や観光資源をテーマ別、ターゲット別、地域別の切り口で整理し、観光紹介用パンフレットの作成や大田区公式観光サイトへの掲載情報の検討等に活かす。
	テーマ集中型観光魅力発信事業	複数年単位でテーマを絞った戦略的な観光PRを実施するため、大田区観光推進連絡協議会の場を活用する等、重点的に取り組むテーマ選定や情報発信の方向性を定め、区の認知度向上及び誘客促進に繋げる。
	空港利用者向け区内周遊促進事業	羽田空港で一定程度の待ち時間が発生する利用者に対し、待ち時間を活用した区内の周遊促進として、マップや観光関連施設の利用補助券の提供、公共交通機関の運行情報の案内等のサービスを行う。
	まいせん（馬込・池上・洗足池）活用事業	馬込・池上・洗足エリアを結ぶ「まいせんマップ（仮称）」を、地域で文化活動を行うNPOとともに作成し、特設サイトでも紹介する。
	大田の観光にぎわい創出事業補助金（②地域のにぎわい（広域連携含む））	地域が主体となって区にある観光資源を活かし、新たな地域のにぎわいを創出する事業を支援する。
	＜（一社）大田観光協会＞ ① いきいき大田写真コンクール	「いきいき大田写真コンクール」（広報課主催）に観光の視点を取り入れた部門賞を設け、区民の目から見た魅力あふれる大田の写真を募集する。
	＜（一社）大田観光協会＞ ② おおた商い観光展	大田区、（公財）大田区産業振興協会等と主催する「おおた商い観光展」で、浴場、ホテル、交通事業者等と連携して、大田区の魅力をPRする企画展示等を行う。
	＜（一社）大田観光協会＞ ③ 蒲田映画祭2018	大正から昭和初期にかけて映画撮影の一大拠点であった蒲田の特徴を活かして、当時の映画上映会やトークショーを映画・映像を活用した新たな観光資源を発掘し、その魅力を発信する。
	＜（一社）大田観光協会＞ ④ 大田の魅力PR事業	地域で開催されるイベント等と連携して、会場で情報コーナー等を開設して情報発信するほか、パネル展示やまち歩きツアー、イベントを実施することにより、地域の魅力再発見の機会を提供する。また、まちあるき情報誌「大田区さんぽ」を発行し、来場者の増加、地域PRを図る。
	大田の魅力を活用した地域にぎわい事業	区にゆかりのある映画・ドラマ作品又は区内の観光資源等を活用し、区の認知度向上、区への誘客及び回遊・消費向上につながる事業を実施する。
新スポーツ健康ゾーン活性化事業	スポーツ施設や公園が集積する「新スポーツ健康ゾーン」の認知度・回遊性向上を図る一連の事業として、大森ふるさとの浜辺公園やビーチバレー場を中心に事業を実施する。	

区分	事業区分	概要
水と緑のまち大田区を楽しむ仕組みづくり	ウォーターフロント活用事業	区の特徴である水辺空間及び資源、水辺に関連する歴史を活用したストーリー作りや観光プロモーションの実施を行う。
	サイクルツーリズムの推進	自転車の活用を推進し、良好なサイクリング環境（サイクリングルート等）を創出等する。
	く（一社）大田観光協会 > ⑤ 水辺の賑わい事業	大森ふるさとの浜辺公園、京浜運河、多摩川を利用した水辺のイベントや、カヌー教室、カヌーツーリングなど、大田区の水辺を観光資源とした事業を推進する。
	大田の観光にぎわい創出事業補助金（①新たな水辺のにぎわい）	地域が主体となって区にある観光資源を活かし、新たな水辺のにぎわいを創出する事業を支援する。
	舟による水辺の楽しみ方の創出	舟運社会実験として、羽田空港や臨海部周辺の豊かな緑・水辺空間等の観光資源を巡る観光・周遊クルーズ等（東京湾クルーズ、京浜運河クルーズ）を実施する。
	新たな水辺空間の創出	新スポーツ健康ゾーン内に位置する臨海部において、水辺に親しむ公園（森ヶ崎公園、昭和島二丁目公園、大森東水辺スポーツ広場等）を整備する。
	散策ルートの整備	区内散策ルートとして、案内サインに併せ、呑川緑道、桜のプロムナード、臨海部散策路を整備する。
多摩川流域の自治体との交流事業	多摩川流域協議会、多摩川整備促進協議会、美しい多摩川フォーラム等により多摩川流域の自治体と交流・連携を推進する。	
世界に誇る「モノづくり」等大田の産業をみせる仕組みづくり	く（一社）大田観光協会 > ⑥ くりらぼ多摩川運営事業	「モノづくりのまちづくり」を行うための拠点「くりらぼ多摩川（平成25年12月オープン）を活用し、オープンDAY、町工BAR、ワークショップなどモノづくりに関わる多様なイベントを実施する。
	く（一社）大田観光協会 > ⑦ おおたオープンファクトリー	おおたのモノづくりの魅力を広くPR するため、主に武蔵新田・下丸子近辺の工場や、大田区内の工場アパート等をオープンする「おおたオープンファクトリー」を実施する。また、町工場の技術を活かした製品づくり（モノたま）や各種ツアーを併せて実施し、さらなる産業観光を展開する。
	大田の観光にぎわい創出事業補助金（③産業観光受入環境整備）	産業観光を推進する事業者を支援する。
観光振興を推進する体制・環境づくり	観光統計・マーケティング調査実施事業	継続的に観光統計・マーケティング調査を実施し、区の観光を取り巻く環境や、観光客の動向等を把握していくことで、区が取り組む観光振興に役立てる。
	（一社）大田観光協会補助事業	区における観光事業の振興を図り、多くの来訪者を誘致すること等を目的に、一般社団法人大田観光協会の実施する事業を支援する。
	く（一社）大田観光協会 > ⑧ ボランティアガイド育成・PR事業	まちの魅力を案内するガイドの養成講座や区内で活動するガイドグループにフォローアップ研修を実施し、継続的な学びの場を提供する。
	川崎市連携事業	平成25年度に締結した「大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定」を契機とした広域連携事業として、区の観光情報を広範囲に発信し、新たな誘客につなげるため、両地域の共通の魅力を柱とした観光PR事業を実施する。
	観光関連事業者等との連携（大田区観光推進連絡協議会運営）	区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、区の観光振興を推進することを目的に情報交換等を行い、会員間の連携強化、区の観光魅力の創出・誘客、回遊促進を検討する。
	おおたウェルカムボランティア事業	東京2020大会に向け、来訪者に区の魅力を伝え、ブラジル事前キャンプを支えるため、「観光」「スポーツ」「国際交流」のボランティア人材を募集する。
安心・安全・快適な来訪者の受け入れ環境づくり	災害対応体制整備事業	国内外からの来訪者に対し、災害時に適切な避難誘導や情報提供が受けられるよう、大田区公式観光サイトに掲載する災害情報ページの整備、施設に配架するパンフレットの作成・配布、区内観光事業者と共同の避難訓練の実施を行う。
	大田区ウェルカムショップ事業	来訪者が快適に滞在し、食事や買い物を楽しめるまちを目指し、外国人旅行者等の積極的な受入れを行う店舗・施設を「大田区ウェルカムショップ」として登録する。
	大田区まちかど観光案内所事業	来訪者が区内のあらゆる場所で手軽に観光情報を入手できるまちを目指し、観光マップやパンフレットの配布、近隣の簡単な案内等に協力する店舗・宿泊施設等を「大田区まちかど観光案内所」として登録する。
	公衆無線LAN（Wi-Fi環境）運用保守	外国人旅行者等の利便性向上を図り、災害発生時には区民、来訪者、帰宅困難者等の安心、安全を確保するため、公衆無線LAN環境（OTA CITY FREE Wi-Fi）を整備したうえ、ポータル画面から大田区公式観光サイトに繋げ、区の観光情報を広く発信する。
	大田区観光案内サイン推進事業	区民はもとより、外国人旅行者や障がい者、高齢者など区を訪れる方が、安心して区内を回遊し、観光やまち歩きを楽しめるように観光案内サインを整備する。
	大田区観光情報センターの運営	京急蒲田駅直結の商業施設内において「来訪者と『まち・ひと』をつなぐ観光拠点」をコンセプトに大田区観光情報センターを運営し、観光案内、来訪者のニーズに合わせたサービス（日本文化体験、物販・展示等）を提供する。
	羽田空港国際線旅客ターミナル大田区観光情報コーナーの運営	羽田空港国際線旅客ターミナルに区の観光情報コーナーを設置し、パンフレットの配布、産業関連の展示を通じて、観光情報の発信、大田区への誘客を図る。

※ 網掛け部分は事業者等ヒアリング等で新たに想定した事業、それ以外は観光課等で既存に取り組む事業